

●相談窓口一覧 ※各相談日は、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)を除く

相談内容	相談日・時間	場所・連絡先
市民相談 (日常生活の相談)	月・木曜日 午前8時30分～午後4時	市民相談室(市役所3階) ☎(88)9132
消費生活相談 (悪質商法、契約トラブル、多重債務に関する事など)	火・金曜日 午前8時30分～午後4時	市民相談室(市役所3階) ☎(88)9132
無料法律相談 (弁護士による法律相談) ※予約が必要	第2・第4水曜日 午後1時～4時45分(20分以内)	市民相談室(市役所3階) ☎(88)9128
	日時はお問い合わせください。 (30分以内)	市社会福祉協議会(市役所1階) ☎(88)8211
行政相談 (道路、登記、戸籍、雇用、年金などに関する困り事、要望など)	第1・第3水曜日 午後1時～4時	市民相談室(市役所3階)
生活相談 (生活の中で直面する悩みの相談) ※面接相談は予約が必要	火・木～日曜日 午前9時～正午、午後1時～4時 水曜日 午後1時～5時、午後6時～8時	県男女共生センター相談室 (二本松市郭内1-196-1) ☎0243(23)8320
女性相談 (女性が抱える様々な悩みの相談)	毎日 午前9時～午後9時	女性のための相談支援センター ☎024(522)1010
女性相談 (配偶者からの暴力などに対する女性のための相談)	月～金曜日(随時) 午前8時30分～午後5時15分	県中保健福祉事務所 児童家庭支援チーム(旭町153-1) ☎(75)7809
心の健康相談 (心の健康、ひきこもり、アルコール依存などの相談) ※精神科医などによる相談は予約が必要		県中保健福祉事務所 障がい者支援チーム(旭町153-1) ☎(75)7811
こころの病、不安などの悩み相談	月～金曜日 午前9時～午後5時	こころの健康相談ダイヤル ☎0570(064)556
	毎日 午前10時～午後10時	福島いのちの電話 ☎024(536)4343
福島県警察安全相談	月～金曜日 午前9時～午後5時	警察安全相談窓口 ☎#9110または☎024(525)8055
無料法律相談	火・木曜日 午前10時～正午、 午後1時30分～3時30分	法テラス福島 ☎0570(078)370
人権相談(みんなの人権110番)	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	福島地方法律局郡山支局 ☎0570(003)110

様々な悩みや
困りごとは相談窓口へ

市民安全課 ☎(88)9128

市や県などでは、皆さんの日常生活での悩みや疑問などを解決するために、左の表のとおり各種相談を無料で行っています。秘密は厳守されますので、一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

～「住み続けたいまち」へ～

町内会や行政区に加入しましょう！

町内会や行政区では、地域住民が安心して快適に暮らせるよう、お互いに助け合いながら、生活に密着した様々な活動を行っています。地域の皆さんと共に力を合わせて「地域づくり」に取り組みましょう。

町内会や行政区の活動

①「いざ」「もしも」の備え

防災訓練や防犯パトロールなどを行い、災害などが発生したときに、地域で連携して助け合える「防災・防犯対策」を行っています。

②情報の発信

町内会のお知らせや広報すかがわなどを配布し、生活に役立つ「情報の共有」を図っています。

③地域をきれいに

ごみステーションの管理や地域の清掃活動を行い「快適な住環境づくり」を行っています。

④ふれあいの場づくり

伝統行事やお祭りなどの「地域交流の場」をつくり、地域住民の交流を図っています。

加入方法

お住まいの地域の町内会長または行政区長にお申し出ください。

連絡先が分からないときは、市民協働推進課または各コミュニティセンターにお問い合わせください。

市民協働推進課 ☎(94)4432



コミュニティセンター



角田磐谷「あさつゆ」二曲一隻屏風 当館蔵



須田珙中「神苑」当館寄託

講師 博物館学芸員
すかがわ歴史散策
「すかがわの花鳥風月めぐり」
日時 5月20日(土) 午前9時～2時
対象 小学生以上(3年生以下は保護者同伴)
定員 25人(事前申込)
参加料 1500円(昼食代・保険料)
※Jade Green cafe特製弁当付き
申し込み 4月15日(土)から(電話予約可)

博物館春季企画展

すかがわの花鳥風月

博物館 ☎(75)3239

自然の美しい風景などを指す「花鳥風月」は、古くから詩歌・絵画などで表現され、愛されてきました。その花鳥風月の美しさを当館所蔵コレクションの名品から紹介します。

期間 4月25日(火)～6月4日(日)
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日
主な展示作品 角田磐谷「あさつゆ」二曲一隻屏風、須田珙中「群鷺」六曲一隻屏風、吉井忠「晩秋の一里壇附近」油彩額装など約40点
観覧料
▼大人 2000円(1500円)
▼大学・高校生 1000円(700円)
※()内は20人以上の団体料金
▼中学生以下・65歳以上・障

がい者で手帳を所持する人と介助者1人は無料
会期中の催し
こどもワークショップ
「楽しくお絵かき！」
自然や展示作品から感じたものを大きな紙に自由に描きます(汚れてもいい服装でお願いします)。
日時 5月7日(日) 午後1時30分～3時
対象 小学生以下(保護者同伴)
ギャラリートーク
日時 ●5月6日(土) 午前11時～正午 ●5月26日(金) 午後2時～3時

交通事故から子どもたちを守ろう！

あぶないよ いそぐきもちに しんこきゅう

4月6日から12日まで、新入学(園)児童・園児の交通事故防止運動が県内一斉に展開されます。

新入学(園)児童・園児などを交通事故から守るため、ドライバーは通学路や学校周辺ではスピードを落とすなど、思いやり運転を心掛けましょう。

運動の重点

- ▶新入学(園)児童・園児の交通事故防止
- ▶全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ▶道路横断中の交通事故防止

市民安全課 ☎(88)9128



特撮に関する情報をシリーズでお知らせします。

文化振興課 ☎(88)9172

特撮の仕事～特技監督～

特撮映画を作るためには、様々な職業が関わります。今月号では特撮シーンを担当する監督について紹介します。

特撮映画では、特撮シーンの美術・操演・撮影・編集・合成などに関する全てを仕切る指揮官のことを「特技監督」と言います。作品や会社によっては「特撮監督」と呼ばれることもあります。

1954年公開の特撮映画「ゴジラ」で特殊技術を担当した功績がたたえられ、1955年の「ゴジラの逆襲」で特技監督を務めたのが、円谷英二監督です。その活躍もあり、特撮シーンが多い映画では、本編のドラマシーンと特撮シーンを分けて、別々の監督が演出することが主流となっていました。

